

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	ミャンマーの少数民族支配地域において、換金作物生産による農業育成を通して、住民生活の向上と支配地域の生活環境全般の向上を実現する。
(2) 事業の必要性(背景)	(ア) 現在、ミャンマーにおいて民主化と、政府と少数民族との和解が進んでいるが、その行方は依然として不透明である。政府と少数民族との和解が進まない一つの背景として、少数民族支配地域の民生が安定していないことがある。民生が不安定であるがゆえに、少数民族側と政府との互いの不信感が払しょくしないのである。ゆえに、ミャンマーの民主化と国内の和解を促進するうえでも、少数民族の自立と生活向上のための支援事業が不可欠である。 加えて、ミャンマー少数民族支配地域の生活状況は、電気、水道、医薬品などがほとんどない劣悪な環境である。また、奥深い山間部が居住地域であることから、道路や橋などのインフラが未整備なために、人の移動や物資の運搬もままならない地域である。こうした地域であるため、少数民族は自らの力で劣悪な環境を改善するための財源を得る手段もないままにおかれている。 この劣悪な環境を改善し、民生の安定と向上を図るためには、自家用に消費している自生の作物を計画的に栽培し、隣国のタイや日本などに販路の開拓をしていくことによって、彼らが自らの力で民生の向上を図れるように支援することが必要である。 さらに、このプログラムは、少数民族支配地域に居住する国内避難民のみならず、タイ国内に居住しているミャンマー難民の本国帰還後と第 3 国定住後を見据えた実用的な農業職業訓練を意図している。この分野の支援はまだほとんど実施されていないため、新しい技術指導育成として有益なプロジェクトである。 (イ) ミャンマーの少数民族の多くはタイ国内に難民として生活していることと、少数民族の連合組織である統一民族連邦協議会（UNFC）がタイを拠点にして活動していることから、ミャンマーの少数民族支配地域における農業技術支援を行うには、タイに拠点を置くことが必要不可欠である。 なお、上位目標は農業育成という長期的な視野のもとに進められるものであるが、本申請のプロジェクトは 3 カ年の短期的事業として進めるものである。したがって、本申請はその初年度にあたるものである。

(3) 事業内容	ミャンマーにおける少数民族支配地域の民生向上のためには、自家用にのみ消費している自生の農作物（産業用ヘンプ（麻）、楮、綿花等）を、換金できるように計画的な栽培をしていくことが不可欠である。そのため、当団体では 2011 年より現地にパイロット・ファームを開設してきた。しかしながら、現時点ではそれらは換金できるまでの品質に至っていない。 そこで、現地の住民からの要望もあり、栽培技術指導を実施し換金できる品質に高めていくため、下記の事業を進めるものである。 (ア) 農業改良普及所の設置（四ヶ所）及び農業研修の実施 産業用ヘンプ（麻）、楮、綿花などの換金作物の栽培技術指導および診断、肥料・農薬などの技術指導、販路開拓のための指導を実施するために、下記の四ヶ所に農業改良普及所を設置する。 普及所ではカリキュラムにしたがって、農業専門家を派遣し、合計約 650 人の住民を対象に、泊まり込みによる研修を実施する。こうした研修を通じて得られた農業技術が、研修に参加した住民らの手によって、さらに周辺地域にも広がっていくことが期待される。 場所 1 ミャンマー・モン州 プレイトンパイ 場所 2 ミャンマー・カレン州 ニヤリアタ 場所 3 ミャンマー・カレニー州 ニヤム 場所 4 ミャンマー・シャン州 ドイ・トク・モク (イ) 楮計画栽培指導の実施 換金作物の栽培技術指導および販路開拓を実施するために、特に楮についての計画栽培の指導と、販路開拓のための指導を実施する。 そのため、農業専門家を現地に派遣し、合計約 80 人の住民を対象に、生産物の出荷やマーケティングを指導する。さらに、日本の企業・団体の協力を得て、日本やタイなどでの具体的な販路開拓を進めて行く。なお、その生産物の出荷によって得られた収益は、住民の研修参加費などに充てて、彼らに還元するものである。 場所 1 ミャンマー・モン州 プレイ・トンパイ/ミヤ・リ・アタ 場所 2 ミャンマー・カレン州 メーサリット 場所 3 ミャンマー・カレニー州 ニヤム 場所 4 ミャンマー・シャン州 ドイ・トク・モク (ウ) 麻織物の技術指導の実施 タイに滞在するミャンマー難民の帰郷を促進するために、ミャンマー国内のパイロット・ファームにて栽培した産業用ヘンプを原料として、麻織物の生産技術指導、スライバー（紡績工程の中間製品）の生産技術指導を実施する。そのため、日本の企業・団体と連携して、日本と現地に、農業人材育成プログラム・農育教育プログラムに基づ
-----------------	--

	いた研修を実施する。 この研修を修了した住民が、それぞれの地域の技術指導者となることから、麻織物技術の向上が各地に広がっていくことが期待できる。 場所 タイ ターク県 プロプラ
(4) 持続発展性	ミャンマー各地の農場整備ならびにタイにおける加工拠点と技術支援の環境整備が進めば、この技術支援事業を推進していくための、生産と流通に資する環境が整う。 また、農業生産と流通に関する少数民族の専門家の育成を図ることから、この事業の継続性が担保できる。 さらに、次年度以降に継続していく本農業プロジェクトの中で、タイ国内や日本などでの販路開拓を進めていき、実際に技術指導参加者が現金収入を得ることによって、よりこのプロジェクトの持続発展性を担保していく。 加えて、現地にて提携協力を得る財団法人に対して施設の管理・運営を委託することに加えて、施設を現地のコミュニティに譲渡することにより、安定的かつ継続的な事業の推進を図ることができる。
(5) 期待される成果と成果を測る指標	期待できる成果 1. 農業資源を有効に活用して、現金収入を得ることによる、少数民族の自立的・持続的な生活向上メカニズムを創出する。 2. ミャンマー難民の、本国帰還後や第三国定住後の職業機会を向上する。 3. 少数民族地域の民生が安定し向上していくことによって、タイなど第三国に居住しているミャンマー難民の帰還が促進する。 成果を測る指標 1. 技術指導参加者数、ならびに指導を受けた者による少数民族への指導件数 2. 技術指導参加者数ならびに帰還者数 3. 技術指導参加者へのアンケートを実施し、栽培技術、品質向上技術ならびに販売技術への理解度が、おおむね 8 割以上となることを達成度の目安とする。